

平成 30 年度 第 2 回 天然記念物「高宕山のサル生息地」

のサルによる被害防止管理委員会会議録

1 会議の名	平成 30 年度 第 2 回 天然記念物「高宕山のサル生息地」 のサルによる被害防止管理委員会会議
2 開催日時	平成 31 年 3 月 22 日(金) 14 時 00 分～15 時 00 分
3 開催場所	富津市役所 5 階 502 会議室
4 審議等事項	(1)平成 30 年度事業の経過報告及び予算執行状況について (2)平成 31 年度事業(案)及び予算(案)について (3)天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理委員会設置要綱改訂について (4)その他
5 出席者名	(委 員)小泉 義行、岡根 茂、大野 一郎、棟方 雅典 (代理 根本 浩)、小林 琢也、森 孝夫、 相川 正和、南山 明義(代理 遠藤 義彦)、 池田 文隆、清田 義昭 (千葉県)水野 大樹、西川 歩美 事務局 (調査団)直井 洋司、白鳥 大祐 (富津市)笹生 忠弘、當眞 嗣史、金木 佑天、小澤 洋 (君津市)矢野 淳一、當眞 紀子、朝倉 唯
6 公開又は非公開の別	公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7 傍聴人数	0 人 (定員 5 人)
8 所管課	教育部生涯学習課文化係 電話 0439-80-1342
9 会議録 (発言の内容)	別紙のとおり

発言者	発言内容
富津市 當眞 生涯学習課長	<p>定刻となりましたので、平成 30 年度 第 2 回 天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理委員会会議を始めさせていただきます。</p> <p>本日は何かとお忙しい中、本会議にご出席を賜り、誠にありがとうございます。本日の進行を務めさせていただきます富津市生涯学習課長の當眞と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>会議に先立ち、出欠席の報告をさせていただきます。本日の会議は、出席者 10 名、欠席者 3 名でございます。よって過半数の委員の出席を得ており、本委員会設置要綱第 7 条第 2 項により成立しております。</p> <p>会議に先立ちまして、委員長であります、小泉富津市副市長から挨拶を申し上げます。</p>
小泉委員長	<p>皆さんこんにちは。富津市副市長の小泉でございます。</p> <p>本被害防止管理委員会設置要綱によりまして、委員長を務めさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。</p> <p>委員の皆様におかれましては、公私共にご多用の中、ご臨席を賜りまして誠にありがとうございます。また、日頃、当地域の文化財行政にご理解とご協力を頂きまして深く感謝申し上げる次第でございます。</p> <p>昭和 62 年に設置されました当委員会でございますが、サルによる作物への被害はいまだ多く、その役割はますます重要なものとなってきております。</p> <p>本日はお忙しい中、千葉県教育庁教育振興部文化財課から水野様、千葉県環境生活部自然保護課から西川様にお越しいただいております。</p> <p>お二人には後ほど、今後の方針等についてお話をさせていただけるかと思っております。よろしくお願い申し上げます。</p> <p>さて、本日の議題でございますが、</p> <p>(1)平成 30 年度事業の途中経過報告及び予算執行状況</p> <p>(2)平成 31 年度事業(案)及び予算(案)</p> <p>についてでございます。</p> <p>様々な立場からの御意見、ご提案等活発なご審議をお願いいたしまして、簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p>
富津市 當眞 生涯学習課長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、金木主事の方から、お手元にお配りしました資料の確認をいたします。</p>

<p>富津市 金木主事</p>	<p>それでは、お配りしました資料の確認をお願いいたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 会議次第 2 委員等名簿 3 席次表 4 平成 30 年度事業の進捗状況 (『天然記念物「高宕山のサル生息地」の サルによる被害防止管理事業報告書(途中経過)』) 5 平成 30 年度予算執行状況 6 平成 31 年度事業計画書(案) 7 平成 31 年度事業予算案(案) 8 天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理 委員会設置要綱改訂案 9 平成 29 年度、平成 30 年度サル生息状況調査結果 <p>以上の 9 点です。 不足はございませんでしょうか。 では以上で、資料の確認を終わります。</p>
<p>富津市 當眞 生涯学習課長</p>	<p>本日の会議は公開となります。会議終了後に会議録を作成し、富津市及び君津市のホームページにて公開いたします。会議録作成のために録音させていただきますので、ご了承願います。</p> <p>それでは、本委員会設置要綱第 7 条第 3 項の規定により、議長を小泉委員長をお願いいたします。</p>
<p>小泉議長</p>	<p>それでは、議長職を務めさせていただきます。ご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。</p> <p>始めに、会議録署名委員 2 名を決定したいと思いますが、こちらから指名してよろしいでしょうか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>(異議なしの声)</p>
<p>小泉議長</p>	<p>ありがとうございます。 それでは、森 孝夫 委員と清田 義昭 委員をお願いいたします。</p> <p>次に、議題に入ります。 議題(1)平成 30 年度事業の経過報告及び予算執行状況について事務局の説明を求めます。</p>

君津市
當眞副主幹

平成 30 年度事業途中経過について、説明いたします。

○資料 4 『平成 30 年度『天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業報告書(途中経過)』に沿って説明

本報告書は、平成 31 年 2 月 28 日現在での記載となっております。

1. 被害防止について

(1) 電気柵による被害防止

当事業で設置した既設電気柵について、地元の調査補助員や調査団員により、月 1 回程度の点検、補修を行いました。4 ページの表 1.2 がその結果となっております。

また、宇藤原地区の周回電気柵は、年 3 回程度の草刈を実施しました。

次に、改修についてです。

まず、富津市側ですが、高溝地区の T10+T15 の一部 33m 分、T14 の一部約 85m 分の改修を実施いたしました。T14 の一部については、2 月末から現在まで実施中であります。

次に、君津市側ですが、平田地区の K10+K18、及び K17 の一部で 69m を改修しました。こちらの部分については、昨年度実施した区間の続き区間を実施したものです。K17 は、K10+K18 終点と繋ぎ、図の点線部分の旧型電気柵は撤去予定です。

(2) 被害多発期の追い払いについて

8 月 5 日から 9 月 6 日までの期間中、要現状変更範囲やその周辺で、電波発信機が装着されている群れを中心に追い払いを行いました。実施員数は延べ 44 人日です。

(3) 被害実態調査

3 月内で、現在実施中であります。

2. 生態調査と個体数管理

(1) 電波発信機装着のための捕獲

電波発信機を装着するために、箱ワナを 9 台、7 か所に設置しました。昨年まで箱ワナが 10 台ありましたが、今年度途中、1 台が老朽化により使用できなくなり、9 台の使用となっております。

今年度は計 6 回の捕獲がありましたが、そのうち、装着に適したメス 3 頭に電波発信機を装着しております。

発信機装着個体は、君津市怒田沢捕獲のマイカ、富津市豊岡捕獲のモク、富津市豊岡捕獲のウトの 3 頭のメスです。

捕獲個体 6 頭の外部計測の結果、相対尾長でアカゲザルとの交雑と判定された個体はいなかったため、血液サンプルを採取し放獣しました。

続いて、生態調査の追跡調査についてです。

今年度の追跡対象群は、2 月末現在までで、T-Ⅱ群、ミサキ群、小

倉A群、イカル群、旅名A群、尾崎群の計6群です。ミサキ群については、今年の1月に発信機が脱落したため、4月から12月までの追跡をしております。

また、富津市豊岡で捕獲されたウトという個体は、2月27日に電波発信機を装着したばかりですので、今後の調査で行動域を確認していきたいと考えております。

これによりまして、2月末での指定地域周辺のテレメーター装着個体は11頭となります。

各群れの結果について、本報告では2月末までの行動域が確認できたものを掲載してありますが、最終的には、千葉県ニホンザル事業の結果も加えて取りまとめる予定です。

各群れの行動域については、今年度はあまり大きな変化はみられませんが、T-II群については、要現状変更範囲である富津市高溝・宇藤原地区のある、東側へシフトしている様子がみられます。行動域の空白域にも別の群れがいることが予測されますので、引き続き発信機装着個体を増やしていきたいと思っております。

(3) 個体数管理については、

富津市農林水産課、君津市農政課より有害鳥獣駆除の資料を提供していただき、取りまとめます。

3. 天然記念物指定地域の環境改変と生息環境調査について

環境改変調査は2年に1度の実施で、今年度は実施年でした。12月に対象樹木の成長量調査を行い、成長状況について示してあります。

生息環境調査については、3月内に取りまとめます。

以上、報告いたします。

富津市
金木主事

続いて、私の方から、平成30年度事業の予算執行状況についてご説明させていただきます。

○資料5『平成30年度 天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業予算執行状況(平成31年2月28日現在)』に沿って説明

歳入	(収入済額)	4,473,000	円
	内訳		
	富津市	2,460,000	円
	君津市	2,013,000	円
歳出	(支出済額)	3,282,024	円
	内訳		
	報償費	12,000	円
	賃金	2,279,000	円
	旅費	334,690	円
	需用費	629,133	円
	役務費	27,201	円

	<p>2月28日現在、約73%の執行率となっております。</p> <p>なお、残りにつきましては、電気柵約85mの改修とそれに係る賃金、環境改変調査費等で支出する予定です。</p> <p>以上報告いたします。</p>
小泉議長	<p>ありがとうございます。</p> <p>他に補足等ございますでしょうか。</p>
調査団 白鳥	<p>事業報告について少し補足説明させていただきます。</p>
	<p>今年度の電波発信機装着個体の中で、2月27日装着のウトですが、3月にも調査しておりまして、小倉A群の行動域の中にいますが、小倉A群とは別で確認されました。ただし、まだ群れに合流していない可能性があるため、小倉A群なのか別群なのかははっきりしていません。</p> <p>それから、図2.8については、あくまで本事業で今年度追跡調査をした群れの行動域だけが載っていますので、このほかにも群れが存在しています。</p> <p>T-II群とイカル群の間、T-II群と小倉A群の間、このあたりでは、こちらの追跡調査でも電波発信のない群れが確認されています。</p> <p>旅名A群と尾崎群の間、小倉A群と尾崎群の間、このあたりでは、最近直接の確認はありませんが、ほかの群れが生息していてもおかしくない環境です。</p> <p>以上です。</p>
小泉議長	<p>ありがとうございました。</p> <p>事務局の説明が終わりました。ご質疑等ございますでしょうか。</p>
	<p>ないようですので、議題(1)平成30年度事業の経過報告及び予算の執行状況について、ご承認いただけますでしょうか。</p>
委員一同	<p>(異議なし)</p>
小泉議長	<p>ありがとうございました。本件は承認されました。</p> <p>続きまして、議題(2)平成31年度事業計画(案)及び予算(案)について事務局の説明を求めます。</p>

君津市
當眞副主幹

平成 31 年度事業計画(案)について、ご説明いたします。
○資料 6 『平成 31 年度事業計画書(案)』に沿って説明

本事業は、事業主体を、管理団体である富津市及び君津市とし、天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業査団を委託先とし、次年度も実施する予定です。

経費は、4,473,000 円、
内訳は、富津市 2,460,000 円、君津市 2,013,000 円です。

期間は、平成 31 年 4 月 1 日から平成 32(2020)年 3 月 31 日までといたします。

事業内容は、
(1)被害防止事業
(2)生態調査と個体数管理
(3)天然記念物指定地域の生息環境調査

次年度は、環境改変は未実施の年となっております。

成果品は、報告書と精算書を年度末(3月31日)までに提出することといたします。

事業内容の詳細については、次のページの詳細(案)をご覧ください。

- (1) 被害防止事業
 - ①既設電気柵の維持管理
 - ②被害多発期の追い払いによる被害防止
 - ③被害実態調査
- (2) 生態調査と個体数管理
 - ①指定地域とその周辺に生息する群れの生態と個体数の調査
 - ②群れの生態に関するデータの取りまとめ
 - ③個体数管理

個体数管理については、有害鳥獣等の関係機関と協議し、駆除頭数を調査して参ります。

- (3) 天然記念物指定地域の生息環境調査
 - ①生息環境調査

富津市宇藤原地区の峰上ステーション周辺において、測定器を用い、気温や降水量の測定を実施します。

このほか、お手元の資料には、当委員会委員名簿、調査団組織の名簿を添付してあります。

富津市
金木主事

続きまして、平成 31 年度予算案についてご説明いたします。
○資料 7 『平成 31 年度 天然記念物「高岩山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業予算(案)』に沿って説明。

歳入	(委託料)	4,473,000	円
	内訳 富津市	2,460,000	円
	君津市	2,013,000	円

歳出	(予算額)	4,473,000	円
	内訳 報償費	123,000	円
	賃 金	2,750,000	円
	旅 費	352,000	円
	需用費	1,226,000	円
	役務費	22,000	円

以上、予算案についてご報告いたします。

小泉議長

ありがとうございます。
補足等ございますでしょうか。

調査団
直井

調査補助員の賃金についてですが、来年度予算がこれまでより大幅に少なくなっております。

これまで電気柵の点検、草刈、改修等を地元の方々に非常に大きな力になっていただいていたのですが、近年、高齢化が進んでおりました、なかなか担い手がないということで、このあたりの地元をお願いしていた作業を調査員の方で補助する形になっていきますので、内訳が変わっております。

なおまた、実施状況によっては、賃金を調査員、調査補助員の間でやりくりしながらになると思いますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。

小泉議長

ありがとうございました。
事務局の説明が終わりました。
ただいまの説明について何かご質問等ございますか。

	<p>ご質疑もないようですので、議題(2)平成31年度事業計画(案)及び予算(案)についてご承認いただけますでしょうか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>(異議なし)</p>
<p>小泉議長</p>	<p>ありがとうございます。本件は承認されました。 続きまして、議題(3)天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理委員会設置要綱改訂について、事務局の説明をお願いします。</p>
<p>富津市 金木主事</p>	<p>天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理委員会設置要綱改訂(案)についてご説明いたします。 ○資料8『天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理委員会設置要綱改訂案』に沿って説明</p> <p>改訂の理由といたしまして、昨年度の第2回の会議のときに嶋野委員から、地元の声を吸い上げるために、地元の人を委員として入れていただきたいという声があがりました。</p> <p>現在の要綱ですが、第6条第1号から第10号までが委員の規定でございます。</p> <p>全て充て職になっておりますが、実は昨年10月頃から、本日ご欠席ではございますが、富津市有害鳥獣対策協議会会長でありました嶋野さんが会長の任を降りまして、富津市峰上15区区長の高梨友男さんが新たに就任しております。</p> <p>ただ、峰上15区というのは、天然記念物の指定のエリアなどからは外れている場所です。地元の声を吸い上げるのが難しくなっております。</p> <p>これまでの要綱では、地元の声を吸い上げるのが難しくなるという懸念事項が現実のものとなってしまったということもありまして、新たに、</p> <p>「第11号 前10号に掲げる者のほか、委員長が会議の運営上必要と認める者」という一文を付け加えまして、引き続き嶋野さんに出席していただけるような要綱にしたいと思います。</p> <p>また、ほかにも「うちの区の要望も聞いて欲しい。」という要望がありましたら、そういった方々も会議に参加していただけるようなものとさせていただきたいと思っております。</p> <p>この改訂案をご承認いただけるようであれば、</p> <p>「附則 この要綱は、平成31年4月1日から施行する」という一文を付け加え、施行させていただきたいと思っております。</p> <p>以上、事務局の説明を終わります。</p>

<p>小泉議長</p>	<p>事務局の説明が終わりました。 ただいまの説明について何かご質疑等ございますか。</p> <p>ご質疑等もないようですので、議題(3)天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理委員会設置要綱改訂について、ご承認いただけますでしょうか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>(異議なし)</p>
<p>小泉議長</p>	<p>ありがとうございます。本件は承認されました。</p> <p>続きまして、「その他」についてでございますが、何かございますでしょうか。</p>
<p>池田委員</p>	<p>電気柵なんですけども、また来年もやるという話になってはいますが、一時期は他の予算とあわせて大きなプロジェクトにして、ということもあったと思うんですが、その後、どこかと連携してということはないんでしょうか。</p> <p>設置の時期をみると、随分古くなっているんで、ここで抜本的なことをしないと、電柵が形だけになっているものになってしまっているんじゃないかと思うんですが、どのようにお考えでしょうか。</p>
<p>富津市 金木主事</p>	<p>先ほどの池田委員のご質問にお答えいたします。</p> <p>電気柵についてですが、富津市の生涯学習課のほうでは、農林水産課のほうに、こういった補助制度で柵を設置できるかなどを確認しております。</p> <p>実際に、現地の方で、農地を耕作している方3名以上の被害報告を申請していただいて、こういった補助を利用できるのか、といったことを確認したいということでございます。</p> <p>この会議の場だけでなく、直接市の方にも声をあげていただく必要がございます。</p>
<p>池田委員</p>	<p>君津市側では、同じ材料で農地保護の電気柵が設置されているように見えるんですが、久留里の方でも同じ材料で電気柵を設置されているように見えるんですが、富津市の方では、あちこち同じ材料を供給するようなことはないんでしょうか。</p>

調査団
直井

現在、富津市側の電気柵は、宇藤原地区と高溝地区で1年おきにやっているような形です。やったとしても200mに届かないような距離です。

すでに宇藤原のほうは長年に渡って長い距離をやっている状態で、改修すべき距離が年々増えているような状態です。

そのため、現峰上9区区長(宇藤原地区)の嶋野さんがもう少し上手い予算立てで長い距離を改修できないかということで、1年前にお話しされました。

例えば、今、池田委員がおっしゃいましたが、君津でやっているような頑丈な柵を他の補助金で設置させていただいて、その上に天然記念物の事業による電気柵を敷設するようなことができないかということをご提案されたと思います。

それから1年経っております。現状で事務局の具体的な案がないというのがいぶかしいところではありますが、まずは富津市の農林水産課、それから教育委員会、地元宇藤原の区長、我々調査団と具体的にどういうことが可能なのか、どのようなことがネックなのか、そのあたりを検討するような会合を早急に設置していただくことが良いのかなと考えております。

この件は、宇藤原の嶋野区長も同じような意見をお持ちですので、早急にご検討いただければありがたいと思います。

すでに宇藤原では、個人で資材を集めて柵を設置するようなことが出ております。それは要するに、事業の進捗を待っていても、自分のところの被害は無くならないというご判断です。そういうことについて、この場でもう少しお答えいただけるような形になっていただきたいと思っております。

よろしく願いいたします。

それからもう一つ。

この事業は昭和55年(1980)年に文化庁の補助金をもとに始まった事業でございます。5カ年行いまして、追加の2カ年を経た後に君津市・富津市の事業ということで今の形ができております。

来年度からは41年目ということになりますが、始まった当初は県の自然保護課もないような状況で、無論、保護管理計画もないような時代に始まっています。

ですから、当時としては、猿害に対して、役所として大きく関わる、あるいは指導するという体制がない中で始めましたから、本来なら、県自然保護課でおやりになっているようなことも含めて事業内容としてやってきたということがございます。

また、当時は高岩山周辺でイノシシ・シカ存在は皆無でした。

したがって、電気柵等もサルに見合った物を作ればよかったですのですが、現在はむしろサルよりもイノシシ・シカのほうが多く出ている状況でございます。したがって、かつて作った電気柵がイノシシ・シカによって壊されてどうしようもない状態です。したがってサルを防ごうと思えば、その前にイノシシ・シカを防ぐ堅牢な柵が必要なために、

	<p>なかなか予算が厳しくなっているということがございます。</p> <p>もう 40 年目で事業を見直そうということで、少し前に文化庁の補助金が採れないかということ考えた時期もございましたが、それはそれ以降進捗していない状況です。</p> <p>このあたりで一度、事業を見直して新しい形、新しい体制で臨めるようご検討いただきたいと思います。</p> <p>先ほども申し上げましたが、実際に地元の方の高齢化ということもございまして、今までと同じようには事業が進まないということがありますので、そういったことも含めてご検討いただければありがたいと思います。</p>
<p>小泉議長</p>	<p>今の一連のことですが、主に富津市側のことを言われているように思います。平成 31 年度の事業において、早い時期に検討して何らかの道筋を付けてほしいということによろしいでしょうか。</p>
<p>調査団 直井</p>	<p>基本的に、当初は君津の石射太郎山で餌付けされていた T-I 群が主に富津市の宇藤原・高溝で被害を出しているというのが大きな問題となって始まった事業ですので、現状は当時とすっかり変わってしまっているところですが、特に宇藤原・高溝ということになると思いますが、君津も含めて、今後、むしろ天然記念物指定地域の中の維持管理というのをどういうふうにやっていくのか。そこの生息調査、生態調査をどう実施していくのか。それから、被害防止については、どこと連携し、どう動くのか、そのあたりを一度考え直すべきでないかなと考えております。</p>
<p>小泉議長</p>	<p>事務局としては、今おっしゃられたように、富津市・君津市両方でやらせていただきますので、平成 31 年度で検討するというところで、事務局はお願いいたします。</p> <p>他にございますか。</p> <p>他にないようですので、本日、千葉県教育庁文化財課より水野様がお見えになっておりますので、お話をお伺いしたいと思います。</p> <p>水野様、よろしくお願いいたします。</p>
<p>県文化財課 水野 文化財主事</p>	<p>千葉県文化財課の水野でございます。</p> <p>私の方から、何点かお話をさせていただければと思います。</p> <p>まず、平成 31 年 4 月 1 日から、一部を改正した文化財保護法が施行</p>

されます。皆様方に関係する代表的なところといたしましては、天然記念物保存活用計画というものがございまして、天然記念物の指定範囲をどう活用していくかということをもとめたものになるんですけども、これが平成 31 年度の改正をもちまして、文化庁の認定計画とすることができるようになります。

現時点ではまだ、実際に認定計画をした場所はないので詳しいことについては、現在ではできませんが、認定計画になりますと、今まで文化庁にあげていた現状変更の許可申請を保存計画に書いた上で認定されれば、届出制とすることができます。要するに後付けの届出にすることができ、事務の簡素化が図れるという利点がございまして。こちらについては、文化庁から具体的な内容等についてありましたら、皆様にも周知して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それから、少し古い話になりますが、同じく現状変更に関することになりますが、平成 28 年 4 月 1 日付けだったと思いますが、文化財保護法の施行令の改正がございまして。

こちらのほうで、現状変更のうち、調査のための捕獲で血液等を採ることについて、今まで国の許可であったものが県、もしくは市の許可に保証されるということがございまして。現状では君津市・富津市の 2 市にまたがっているということで、県の方で捕獲許可を出しております。

私のほうで気になった点といたしまして、今まで天然記念物の指定範囲につきまして、要現状変更範囲及び要協議範囲のことで施行令で権限委譲がされる前に設置されたものが引き継がれているということがございまして、今後例えば、県あるいは市で許可できる案件が増えてくるということであれば、この範囲についても、また一度どこかのタイミングで見直しをしてもよろしいのではないかなと少し感じました。

これは文言のことになってしまうんですが、要現状変更範囲というもので言うとうちの課でも要現状許可申請範囲という、現状を変更する範囲ではないということで、文言も不適切なのではないかという指示もありましたので、それも併せて今後検討できればと思っております。

最後に、補助金のことについてお話しさせていただきます。

文化財に関連する補助金については、文化庁のほうで「天然記念物による食害対策費」ということで、補助金のメニューを用意しております。

現状ではまだ申請には至っていない段階ではありますが、他の県を見ますと、サルの天然記念物指定はございまして、下北のサルであったりですか、箕面のサルであったり、そういったところの事例を調べまして、どういったものに対して補助が出ているか、どういったことができるのかを調べた上で、また事務局のほうにお伝えでき

	<p>ればと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。 私からは以上です。</p>
<p>小泉議長</p> <p>県自然保護課 西川副主査</p>	<p>ありがとうございました。 続きまして、同じく千葉県自然保護課の西川様、よろしくお願いいたします。</p> <p>千葉県自然保護課の西川です。 皆様のお手元に一枚、資料を配布させていただきました。 ○資料9『平成29年度、平成30年度サル生息状況調査結果』に沿って説明</p> <p>自然保護課のほうからは、サル出没カレンダー調査及びルートセンサ調査の調査結果ということで、 夏の会議にも平成29年度の調査結果を皆様にお配りしましたが、29・30年度、二カ年掛けまして、県内全域のサルの群れの分布域の調査が終わりましたので、今回の結果をお持ちしました。 表面が全域の調査結果になっていまして、かなりびっしりと群れの形が入っているんですが、色分けは加害レベルとなっております、群れがどれだけの被害を出しているのかをランク付けしたものです。 今回の調査は、地元の方に出没状況を記録していただいて、そのデータと調査員の聞き取りで情報を得たものから推定してるものです。 今回の結果から出ているもので、千葉県の推定の群れ数としては131群という結果です。推定個体数は2,880～3,818頭という形で出ているんですが、この結果でご注意いただきたいのが、あくまで出没状況で推定していますので、山の奥で暮らしていて奥に行ったりして人に見られないようなものは検出されていません。 外縁部はサルの分布の端でとれていると思うんですが、内側で空白のエリアが鴨川市や君津市、また、高宕山のエリアがそうなのですが、山の深いところに関しては情報がありません。なので、サルはここにはいませんということではなくて、情報なしということでご認識いただければと思います。 また、推定個体数に関しましても、今回はあくまで群れとして推定されたものの、同時に出没時に何頭ぐらいたかというデータをとっています。なので、そういうものから頭数を出しているんですが、あくまで群れに分布している個体しかカウントされていません。なので、離れザルやオスグループをつくって別行動をしたりということもありますので、そういった個体がカウントされていない数字になりますので、個体数に関しては、千葉県の現状として、年間800～1,000頭が有害獣として駆除されていますので、どう考えても明らかにこの調査の数字よりも多い頭数が生息していると認識しております。</p>

	<p>裏面をご覧くださいますと、高宕山周辺地域の群れの推定分布をより細かくしたものです。</p> <p>高宕山周辺地域ですと、こちらの調査で電波発信機を付けている群れがございますので、そういった群れはそのデータのほうがより確度が高いので、それを踏まえて推定させていただいております。そういったものは図中にも旅名A群だったり、T-II群だったりと名前が入っております。FTやKMTのような記号的に括らせていただいたようなものは、今回の調査で推定がされた群れということで機械的に番号を振らせていただいております。</p> <p>今回の結果で、千葉県の場合として特徴として、加害レベルが最も高い5という群れがなかったことに加え、逆に加害レベルの低い0、1という群れもなく、レベル2から4の間という、凄く被害が大きいわけではないんですが、そこそこ被害を出している群れが多いという結果になっております。</p> <p>こういう形で全県の場合がわかって、加害レベル等もわかってきましたので、県の場合としては今後、サルの管理についてどういった方針で進めていくのかをこれから検討していく予定です。</p> <p>自然保護課からは以上でございます。</p>
小泉議長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいまのお二人のご説明につきまして、ご質問等ございますでしょうか。</p>
調査団 白鳥	<p>事務局からですが、よろしいですか。</p>
小泉議長	<p>どうぞ。</p>
調査団 白鳥	<p>ありがとうございます。</p> <p>細かいところの質問ですが、西川さんの資料で、名前が付いているのは電波発信機が装着されている群れということですが、これは何年度のものですか。</p>
県自然保護課 西川	<p>富津市・君津市に関しては、この調査を30年度にやらせていただいたので、基本的には最新のを反映しているんですが、実施時期が7月なので、それ以前の行動域を反映させていただいております。</p> <p>なので、その後の動きは入っていないものになっています。</p>

<p>調査団 白鳥</p>	<p>この丸の形は、行動域を描く手法として、100パーセント最外郭法で描いてあるようなものもあれば、一部をへこませて描いてあるようなものもあるんですが。</p>
<p>県自然保護課 西川</p>	<p>それは、電波発信機を付けていないものも含めてですか。</p>
<p>調査団 白鳥</p>	<p>電波発信機を付けた群れは100パーセント最外郭で描いてるんですが、中には一部へこませて描いてあるようなんですが。</p>
<p>県自然保護課 西川</p>	<p>完全な詳細は委託先に確認しなければ私もわからないんですが、電波発信機の付いた群れでも、完全に電波発信の情報だけでなく、出没カレンダー調査のほうで拾った情報についても加味して線を描いているので、その掛け合わせかと思います。</p>
<p>調査団 白鳥</p>	<p>わかりました。</p>
<p>小泉議長</p>	<p>他にございますか。</p>
<p>調査団 直井</p>	<p>私も西川さんに質問です。 人家等がなくてですね、空白地になっているところも補助の調査のようなものもお考えでしょうか。</p>
<p>県自然保護課 西川</p>	<p>全てというわけではないんですが、今後、県の計画でいわゆるコアエリアとしているようなところをカメラなどで、群れとしては難しいとは思いますが、サルの生息があるかないかの検出がある程度可能ではないかと思っております、そういった調査をやろうと考えております。</p>
<p>調査団 直井</p>	<p>かつて県の仕事では、何年かに掛けて、人材を投入して広い範囲で調査して山の中を埋めていくってことをやっていたと思うんですが、そういった過去のデータなんかもご参考いただければと思います。</p> <p>それから、具体的にですね、高宕山周辺のミサキ群の上にいるFT3というのは、T-I群ではないかなと、それからFT4が石見堂群というふうに考えると、割と我々が考えている実感に合うのかなと思っています。</p>

<p>県自然保護課 西川</p>	<p>ただ、これは具体的な地形等が出ていないので、もし可能であればどこかの時点で、地形が見えるもので拝見させていただければありがたいと思います。</p>
<p>調査団 直井</p>	<p>今日はお持ちしていないんですが、実は各市町村から、地元の方、一般の方はかなりご協力いただいているので、地元の方向けに回覧などで調査結果をご報告させていただく予定です。市町村ごとに回覧の時期がずれているんですけど、そちらの図に関しては、後ろに地図をある程度いれていましたので、そういった図を今度お持ちできればと思います。</p> <p>全体で百何十群とかですね、何千頭とか、県としてはお出しになるんでしょうけども、被害を受けている地元からすると、自分の家の畑には群れがいくつ出ているのか、うちの集落には何頭ぐらい出てくるのかと、それが一番知りたいことかと思えます。</p> <p>全体としてこれだけいる、ということは報告として必要なことですが、被害防止ということであれば、むしろ地元には具体的な情報がいくことが大事かなと思います。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>
<p>小泉議長</p>	<p>他にございますか。</p> <p>それでは他にないようですので、その他に事務局、何かございますか。</p> <p>ないようですので、これで議長の職を解かせていただきます。</p> <p>ご協力ありがとうございました。</p>
<p>富津市 當眞 生涯学習課長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、平成30年度第2回「天然記念物高岩山のサル生息地」のサルによる被害防止管理委員会の一切を閉会といたします。</p> <p>長時間に渡り、ご審議ありがとうございました。</p>